



発行元

岡山県立精研高等学校

TEL 0866(62)0203 FAX 0866(62)8254

Email seiken@pref.okayama.jp

URL http://www.seiken-okayama-c.ed.jp

頂点へ向けて一步前進

団体第五位入賞(中国04高校総体) 個人総合第三位(大舌俊平君)

平成十六年度全国高等学校総合体育大会「中国04総体」(インターハイ)が、島根県を中心に中国五県で開催され、新体操競技は八月九日(月)より十一日(水)まで広島サンプラザで開催された。「優勝」を合い言葉に厳しい練習を重ねてきた精研高校新体操部は、練習の成果を遺憾なく発揮し、団体で昨年よりひとつ上位の五位に入賞し、頂点への手がかりをつかんだ。また、個人では、大舌俊平君が完璧な演技を行い、三位入賞の快挙をなした。



精研高校を 全国へアピール

高得点が相次ぐなか、最後から二番目に登場した選手たちは、十八・九以上の点を出さなければ三位に届かない状況から、やや緊張した状態で入場した。

しかし、切れのある連続技や難易度の高い技を次々とこなし、練習の成果を十分に発揮した。途中、息の合わない部分やミスもあったが、すばらしい演技であった。選手たちは、「硬さがあった」とか「力が出し切れなかった」など悔やみきれない表情であったが、全国に精研高校新体操部の名をアピールするには十分であった。

長田監督は、「ノーマスで六位だった昨年に比べ、あきらかにミスがあった五位とは大きく異なる」「今秋の埼玉国体、来年の岡山国体へ向けて『岡山の精研』をアピールできた」と話していた。



谷本 竜也君 清水 翔吾君 大舌 恭平君 福島 吉孝君 友國 聖晴君 大舌 俊平君 長田 監督



気持ちよく演技ができた

個人総合第三位の大舌俊平君

八月十日午後三時すぎ、大舌俊平君の個人演技の開始である。日頃とかわらない様子で入場し、特に緊張した状態は見られず、最初のロープ、続いてのリングとミスもなく、堂々とした演技であった。演技終了後の笑顔が輝いていた。

手に汗握る 応援団

八月十一日の団体競技の応援には、少しでも良い場所を確保しようとして午前五時すぎより会場前に並び開門を待った。すでにその時には、徹夜組を含めて百数十名の保護者等が並んでいた。

八時少し前の開門と同時に入場し、九時三十分の演技開始を待った。精研高校の演技は最後から二番目、午後三時過ぎである。

演技が進み、高得点が相次ぐ中で、保護者会の方々がジュニアなどの応援団も気分次第に高まっていく。

また、教育庁競技力対策課の和気課長、高体連坪井理事長、原体操競技強化委員長、芳田前校長先生も応援に來られ、ますます応援にも力が入っていく。いよいよ精研高校の演技である。応援の熱も最高潮になり、手に汗握る三分間である。